

HCL information

検査内容変更のご案内

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきたくご案内申し上げます。
何卒ご了承賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

- 変更実施日 : 2023年 5月 8日(月) 受付分～
- 変更内容 : 詳細は次ページ以降をご確認ください。
- 変更理由 : 各種ガイドラインや要望事項を反映させた見直しを実施した為。

「塗抹鏡検」細菌顕微鏡検査（グラム染色）の報告表現

菌量の報告表現を自社設定から参考文献に基づいた表現方法に変更いたします。

①グラム染色標本の細菌の量的表示の報告表現変更

変更後		変更前	
報告表現	細菌数（1000倍にて鏡検）	報告表現	細菌数（1000倍にて鏡検）
陰性	認めません	陰性	認めません
1+	1視野あたり<1	1+	1視野あたり1~9
2+	1視野あたり1~5	2+	1視野あたり10~99
3+	1視野あたり6~30	3+	1視野あたり>100
4+	1視野あたり>30		

②グラム染色標本の細胞の量的表示の報告表現変更

変更後		変更前	
報告表現	細胞数（100倍にて鏡検）	報告表現	細胞数（100倍にて鏡検）
陰性	認めません	陰性	認めません
1+	1視野あたり<1	1+	1視野あたり1~9
2+	1視野あたり1~9	2+	1視野あたり10~25
3+	1視野あたり10~25	3+	1視野あたり>25
4+	1視野あたり>25		

「培養同定」検査の報告表現

一般培養、真菌培養検査について、菌量表現を参考文献に基づいた内容に変更いたします。但し、血液培養検査の報告表現については、従来通りであり、変更はありません。

①培地における菌量の報告表現

変更後		変更前	
報告表現	培地の発育状況	報告表現	培地の発育状況
陰性	未発育	陰性	未発育
1+	1/3未満	1+	1/3程度、2/3未満
2+	1/3以上、2/3未満	2+	2/3以上
3+	2/3以上	3+	培地全面
4+	培地全面		

薬剤感受性検査におきまして、薬剤感受性測定装置のバージョンアップを実施いたします。現在、使用中の感受性パネルの一部を新規感受性パネルへと変更いたします。それに伴い感受性検査実施薬剤が一部変更になります。

また、すべての判定基準は、CLSI M100-S26からCLSI M100-S30へ原則変更になります。(なおJANISをご利用のご施設は2020年度版となります。)

①感受性新パネル変更 (Neg MIC 3J)

グラム陰性菌 (腸内細菌科細菌等) に使用される抗菌薬用パネル

系統	抗菌薬名 (略号)
ペニシリン系薬	アンピシリン (ABPC)
	ピペラシリン (PIPC)
セファロスポリン系薬 (注射剤)	セファゾリン (CEZ)
	セフォチアム (CTM)
	セフォタキシム (CTX)
	セフトリアキソン (CTRX)
	セフトアジジム (CAZ)
	セフォゾプラン (CZOP)
	セフェピム (CFPM)
セファロスポリン系薬 (経口剤)	セファクロル (CCL)
	セフポドキシム (CPDX)
	セフジトレン (CDTR)
	セフカペン (CFPN)
セフォマイシン系薬	セフメタゾール (CMZ)
オキサセフェム系薬	フロモキシセフ (FMOX)
	ラタモキシセフ (LMOX)
カルバペネム系薬	イミペネム (IPM)
	メロペネム (MEPM)
	ドリペネム (DRPM)
モノバクタム系薬	アストレオナム (AZT)
β-ラクタマーゼ阻害剤合剤	アンピシリン/スルバクタム (ABPC/SBT)
	アモキシシリン/クラブラン酸 (AMPC/CVA)
	セフォペラゾン/スルバクタム (CPZ/SBT)
	セフトロザン/タゾバクタム (CTLZ/TAZ) *1 新規抗菌薬 (下記参照)
	ピペラシリン/タゾバクタム (PIPC/TAZ)
アミノグリコシド系薬	ゲンタマイシン (GM)
	トブラマイシン (TOB)
	アミカシン (AMK)
テトラサイクリン系薬	ミノサイクリン (MINO)
	チゲサイクリン (TGC)
ニューキノロン系薬	レボフロキサシン (LVFX)
	シプロフロキサシン (CPFX)
その他	トリメトプリム/スルファメトキサゾール (ST)
	ホスホマイシン (FOM)
	コリスチン (CL)

【新規抗菌薬 検査情報】

案内書掲載頁	項目コード	項目名称	検査方法	所要日数
未掲載	1272	セフトロザン/タゾバクタム (CTLZ/TAZ)	微量液体希釈法	2~4日

多剤耐性菌による感染症治療の選択肢との新規抗菌薬

- ・商品名：ザバクサ (MSD株式会社)
- ・適応菌種：本剤に感性的腸内細菌科細菌
- ・適応症：敗血症、肺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、腹腔内腫瘍、胆嚢炎、肝腫瘍

ご不明な点がございましたら、微生物検査室までお問い合わせください。

②判定基準変更

判定基準はCLSI M100-S26からCLSI M100-S30へ原則変更となります。

【主な変更点】

CEZ(セファゾリン)	変更後			変更前		
	S	I	R	S	I	R
Enterobacteriaceae (尿材料を除く)	≤2	4	≥8	≤8	16	≥32

MEPM (メロペネム)	変更後			変更前		
	S	I	R	S	I	R
<i>Acinetobacter</i> spp.	≤2	4	≥8	≤4	8	≥16

LVFX (レボフロキサシン)	変更後			変更前		
	S	I	R	S	I	R
Enterobacteriaceae	≤0.5	1	≥2	≤2	4	≥8
<i>Salmonella</i> spp.	≤0.12	0.25-1	≥2	≤2	4	≥8
<i>P.aeruginosa</i>	≤1	2	≥4	≤2	4	≥8

CPFX (シプロフロキサシン)	変更後			変更前		
	S	I	R	S	I	R
Enterobacteriaceae	≤0.25	0.5	≥1	≤1	2	≥4
<i>Salmonella</i> spp.	≤0.06	0.12-0.5	≥1	≤1	2	≥4
<i>P.aeruginosa</i>	≤0.5	1	≥4	≤1	2	≥4